

単元名 **どんな 計算に なるのかな(1)**

配当時間 **1 時間**

単元の目標 (1) 加減の場面の違いを理解し、場面に即して適切に演算を決定し、計算することができる。
(2) 演算を決定した根拠を説明することができる。
(3) 進んで問題に取り組み、何算になるかを判断しようとする。

標準的な展開例

02040111_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 何算になるかを考えて立式し、計算する。[p.96・p.97]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ どんな計算になるかを考えて、もんだいをとこう。 ○ 加法の問題を読み、立式し、計算する。 ○ 立式の根拠について話し合う。 ○ 減法の問題を読み、立式し、計算する。 ○ 立式の根拠について話し合う。 ○ 「練習問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「～になるわけは、～からです」と理由を言うようにさせる。 ・ 「ぜんぶで」という言葉に着目すればよいことに気付かせる。 ・ テープ図などを利用し、「～になるわけは、～からです」と説明できるよう指導する。 ・ ペア活動をさせるとよい。 ・ 「～のほうが多く」という言葉に着目させ、比べる場合は何算をすればよいかを考えさせる。 ・ テープ図などを利用し、「～になるわけは、～からです」と説明できるよう指導する。 ・ ペア活動をさせるとよい。 ・ 必要に応じて個別指導を行う。 【評】 問題文を読み、立式し、その根拠を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は、既習の2位数のたし算やひき算を基に、場面に即して適切に演算を決定することを学習する。問題の場面をよく考えて、演算を決定させるようにさせたい。